

# 武雄商工会議所会報



武雄商工会議所会頭  
溝上 邦治

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日頃より会員の皆様をはじめ関係団体の皆様には、武雄商工会議所の事業活動に対し、多大なご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍も完全には収束してはいないものの、通常の経済活動に戻りつつある中、エネルギーや原材料の価格上昇、円安、賃金・所得の増加、人手不足など、中小企業の収益に大きな影響を与えました。「人手不足」「価格転嫁」「生産性向上」「事業承継」「デジタル化」など、今後も直面する課題と考えております。

国では生産性向上や価格転嫁の円滑化、省力化投資の支援など地方経済の成長を目指す取り組みが行われています。私も武雄商工会議所では補助金や支援金などの情報発信や申請サポート、専門家による経営指導など、持続的な地域経済成長を支えるべく尽力してまいりました。本年も引き続き、会員事業所の経営力

強化と地域経済の発展のために活動してまいります。

開業2年を迎えた西九州新幹線は、武雄温泉駅南口広場で数多くの民間主導のイベントが開催され、市内には、観光客にとって魅力的な施設も開業されるなど、インバウンドを含めた多くの観光客が武雄を訪れ、交流人口の増加に繋がりました。今後

も西九州新幹線全線フル規格実現に向けても活動を継続してまいります。武雄アジア大学（仮称）の開学に関しても、若者の人口増加に伴い、地元企業様にとりまして、雇用に期待が持てるなど様々な可能性を持つっており、地域活性化に繋がるものと確信しております。武雄市大学設置促進期成会を中心とし、全力で応援してまいりたいと存じます。

本年も武雄商工会議所では、地域経済の発展とともに、会員皆様の事業繁栄・継続を念頭に全力でサポートさせていただきますので、お気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。

最後に、関係各位のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、会員皆様のご健勝とご多幸、ますますの事業繁栄を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 2025年 新年のご挨拶



武雄市長  
小松 政

あけましておめでとうございます。皆様には健やかな新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

日頃から、商工業の振興をはじめ市政全般にわたりご理解やご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、SAGA2024 国入ボ・全障スポが開催され、武雄市はゴルフ、自転車、軟式野球などの競技を迎え、多くの皆様にご来場いただきました。ボランティアの皆様には、大会運営をはじめ、花スポサポーターとしても会場を華やかに彩っていただき、心から感謝申し上げます。開催以降、大会や合宿の問い合わせも増えつつあります。SAGA2024 を一過性のもので終わらせるのではなく、皆で創意工夫し今後の経済振興や交流人口増加に繋げていきたいと思います。

また、昨年9月には西九州新幹線開業2周年を迎え、利用者数は確実に増加し、武雄焼をはじめとした地域産品の販売も好調です。移住相談件数も増加しており、武雄市への関心の高まりを実感しております。

一方で、豪雨災害への備えとし

て、六角川をはじめとする河川の整備を進めるとともに、高橋排水機場の増強など、排水機能の強化にも取り組んでおります。現在、六角川流域水害対策計画を策定し、床上浸水ゼロを目指しており、特定都市河川の指定により、治水とまちづくりを一体となって進めていきます。

これからの武雄市は、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するとともに、経済の活性化、人材育成に力を入れてまいります。第3期総合戦略の策定に向けては、市民の皆様の見解を踏まえ、多文化共生、若者・女性の活躍など、次の世代に引き継ぐべきまちづくりについても議論を進めてまいります。令和8年4月の開学を指す武雄アジア大学（仮称）については、特に若者世代の人口減が激しい本市にとって定住人口の増加につながることに、産業や地域も活性化し、豊かなまちの発展につながるものと確信しております。皆様とともに、活力ある武雄市を築いてまいりたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、新しい年が皆様にとつて、充実した明るい年でありますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 2025年 武雄市新年賀詞交歓会を開催しました



令和7年1月7日(火) 17時より、うらり武雄ガーデンテラススパリゾートにて武雄市新年賀詞交歓会を開催し、会員の皆様及び関係団体から約200名の多くに方にご出席いただき、新年の幕開けを祝いました。

溝上会頭の新年の挨拶では、武雄アジア大学や西九州新幹線について触れられ、少子化の時代を何とか生き抜いて行かなければならない、若者が地域の定着するきっかけになるよう応援したいと語られました。

また、来賓として小松市長が登壇し、挨拶の中で近年の豪雨災害にふれられ、既に以前と同規模の豪雨氾濫には対応できるようになったことを強調、今年はさらに力を入れ災害に強い町を目指すと言われました。

参加者たちは、業界の課題や今後の展望について熱心に議論を交わしていました。

本賀詞交歓会は、武雄市経済の更なる発展を誓う、有意義な場となりました。参加者一同、新たな気持ちで本年に臨み、業界の発展に貢献していくことを確認しました。

## インボイス制度電子帳簿等保存法対応セミナーを開催しました



令和6年の11月に「インボイス制度・電子帳簿保存法対応セミナー」を開催いたしました。今回は講師に税理士法人中央総合会計事務所の所属税理士、東勝義先生をお招きし、ご講演頂きました。

令和5年の10月1日よりインボイス制度が導入され、この制度に対応するために会計経理処理の方式を大幅に変更しなければならなくなりました。

制度は既に施行されていますが、まだまだ対応が追いついていない事業所様からの相談も多いのが現状です。

講義は全3回行われ、延べ15名のご参加を頂きました。ご参加の皆様は自社の経理処理の方法など積極的に質問されていました。

## 第17回 武雄の物産まつりが開催されました



令和6年11月16日(土)～17日(日)にケープルワン・スポーツパークにて、「第17回武雄の物産まつり」が盛大に開催されました。市内外から多くの人々が集まり、地元の特産品やグルメ、ステージイベントなどを楽しむ活気あふれる2日間となりました。

会場には、武雄市内各地の特産品をはじめ、友好都市からの選りすぐりの品々が並び、中でも佐賀牛や若楠ポークの特売コーナーは大盛況で、来場者と出店者ともに好評の声を多くいただきました。

まだまだ改善点はありますが、地元の魅力の発信、友好都市との交流という目的は一定程度達成できたと考えています。運営にご協力いただいた関係各所の皆様、誠にありがとうございました。

## 異業種交流会B 12月定例会のご報告



令和6年12月17日(火)に開催した12月定例会では長崎スタジアムシティの視察を行いました。

長崎スタジアムシティは令和6年10月14日にオープンしたばかりで、サッカーコート、体育館、ホテル、商業施設、貸しオフィスからなる大型の複合施設です。立ち上げには通販番組で有名な(株)ジャパネットホールディングスが大きく関わっており、総事業費1,000億円の全額を拠出しています。

スポーツやコンサートをはじめとする様々な催しの受け皿として長崎県への大きな経済効果が期待されており、西九州新幹線の開通に続き、今後の長崎県の発展を感じさせるものでした。

ご参加の皆様、誠にありがとうございました。

## 異業種交流会A 11月定例会のご報告



令和6年11月22日(金)に開催した11月定例会では会員の丸田延親様のご招待により黒牟田焼丸田宣政窯を訪問しました。

黒牟田焼丸田宣政窯は武雄を代表する窯元の一つで、約450年の長い歴史を誇ります。毎年11月には「民陶火まつり」が開催され、全国各地のお客様に愛され続けています。

定例会ではこの民陶火まつりに合わせて訪問し、窯の歴史についてご説明頂いたあとに絵付け体験に参加させて頂きました。ご参加の皆様は慣れない筆に挑戦しながら、楽しんでいる様子でした。

丸田宣政窯ならびに丸田延親様、誠にありがとうございました。

## 武雄商工会議所部会活動報告



令和7年1月15日(水)に武雄商工会議所にて正副部会長会議を開催いたしました。

本会議では、令和6年度の部会活動報告と次年度の事業計画について、活発な意見交換が行われました。

各部会からは、人手不足、物価高騰といった、各業界が共通して抱える課題や、昨年度の事業活動における反省点などが数多く挙げられ、次年度の事業計画については、AIを活用した業務効率化など、全ての部会で効果が期待されるセミナーの実施が計画されていることが報告されました。

また、武雄市の魅力発信につながるような事業ができればとの意見もいただきました。

## 独立・開業セミナー-創業塾を開催しました



令和6年の10月から11月にかけて、独立・開業セミナー「創業塾」を開催いたしました。今回は講師に中小企業診断士の井筒絵美先生をお招きし、ご講演頂きました。

創業塾は全5回となっており、今年度は10名が参加し、講義では起業の心構えから事業計画書の作成まで幅広い内容で、創業に必要な知識を習得できる大変有意義なものでした。

また、全5回のうち1回は日本政策金融公庫佐賀支店より融資担当の方をお招きし、資金調達の方法についてご講演頂きました。

ご参加の皆様は講義を通じて得た知識やアイデアを自社にどう活かせるか、熱心に考えている様子でした。

## 令和6年分 確定申告のお知らせ

**所得税申告納付期限** 令和7年3月17日(月)まで

**消費税申告納付期限** 令和7年3月31日(月)まで

インボイス発行事業者の登録を受けた事業者の方は、基準期間の課税売上高が1,000万円以下であっても消費税の申告が必要です。

申告書の作成は国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください。画面の案内に沿って金額等を入力するだけで、所得税及び復興特別所得税、消費税及び地方消費税、贈与税の申告書や青色申告決算書、収支内訳書の作成、e-Taxによる送信（提出）ができます。

## 税務署收受印廃止のお知らせ

国税庁が進めている税務行政のデジタル化の一環で、令和7年1月以降、税務署などに提出する申告書等の提出書類（控）に押されていた「受付印」（收受日付印）が廃止となりました。

今後、紙で確定申告をされている方は原本のみ提出していただくことになり、ご自身で控えの作成及び保有、提出年月日の記録・管理が必要となりました。

### 今後の対応について

收受日付印が廃止になったとはいえ、今後様々な手続きにおいて確定申告書を提出したという事実を証明する必要が出てくるかと思われます。以下のような解決策がございますのでご確認ください。

#### 電子申告に切り替える

e-Taxで申告等データの送信完了後に送信される受信通知にて、提出年月日を行うことができます。

#### 保有個人情報の開示請求を行う

税務署が保有する個人情報に対する開示請求により、提出した申告書等の内容を確認することができます

※写しの交付には1ヶ月程度かかります。

#### 納税証明書の交付請求を行う

納税証明書の交付請求を行うことにより、確定申告書等を提出した場合の納税額又は所得金額の証明書を取得することができます。

※納税証明書では、提出年月日を確認することはできませんので書類の提出先にご確認ください。

詳しくは、国税庁のホームページをご確認いただくか▼  
管轄税務署へお問い合わせ下さい。



お問合せ | 武雄税務署 TEL: 23-2127

## 中小企業新事業進出補助金のお知らせ

中小企業新事業進出補助金は、中小企業や小規模事業者が既存事業とは異なる新市場・高付加価値事業への進出を支援し、企業の成長と生産性向上、そして賃上げを促進することを目的とした補助金制度です。

### 補助要件

中小企業等が企業の成長・拡大に向けた新規事業への挑戦を行い、次の全てを満たす3～5年の事業計画に取り組むこと。

- ◆付加価値額の年平均成長率が+4.0%以上増加
- ◆1人あたり給与支給総額の年平均成長率が、県内最低賃金の直近5年間の年平均成長率以上、又は給与支給総額の年平均成長率+2.5%以上増加
- ◆事業所内最低賃金が県内最低賃金+30円以上の水準
- ◆次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を公表等

### 補助額

従業員数20名以下

上限2,500万円(3,000万円※)

従業員数21～50名

上限4,000万円(5,000万円※)

従業員数51～100名

上限5,500万円(7,000万円※)

従業員数101名以上

上限7,000万円(9,000万円※)

※は賃上げ要件を達成した場合の上限額です

### 補助率

補助対象経費の1/2以内

### 補助対象

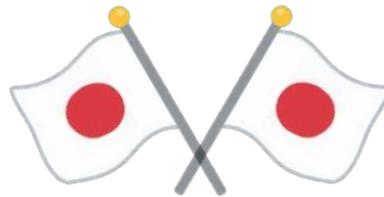
建物費、構築物費、機械装置・システム構築費、技術導入・サービス利用費、広告・販促費など

令和7年4月頃に公募開始予定ですのでご検討下さい。

## 武雄市「建国記念の日」祝賀式典のお知らせ

「建国記念の日」は、日本の建国を偲び国を愛する心を養うという趣旨で定められた国民の祝日です。

武雄市では以下の通り祝賀式典を実施いたします。皆様お誘い合わせの上で参加下さいますようお願い申し上げます。



**日 時** 令和7年2月11日(火・祝) 午前10時

**場 所** 武雄市北方公民館 文化ホール

**記念講演** 「安全保障」

**講 師** 自衛隊佐賀地方協力本部  
本部長 佐々木 真秀路 様

**お問合せ** 武雄市「建国記念の日」祝賀行事世話人会  
(武雄商工会議所内 TEL: 23-3161)